

第 8 回

白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会

日時：平成25年6月28日（金）

13:30～15:30

場所：弘前市

青森県武道館第2研修室

次 第

1 開 会

2 東北森林管理局 森林整備部長 開会の挨拶

3 議 事

(1) 平成24年度事業実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ

(2) 平成25年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 ページ

(3) 白神山地世界自然遺産登録20周年事業について・・・・・・ 14 ページ

(4) その他

4 津軽白神森林生態系保全センター所長 閉会の挨拶

5 閉 会

協 議 会 委 員 名 簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	職 業 等
おおくぼ つとむ 大久保 勉	日本山岳会 青森支部長
おざき ゆきお 尾崎 行雄	三陸森の会・弘南森の会 会長
こん ひろし 今 広	青森県西北地域県民局地域農林水産部 林業振興課長
そうま みつはる 相馬 光春	青森県森林組合連合会 (白神山地ビジターセンター館長)
たむら さなえ 田村 早苗	青森大学大学院環境科学研究科 教授
とうじょう あきひこ 東條 昭彦	鯨ヶ沢町長
なかはま かずお 中濱 和夫	赤石川を守る会 会長
ながい かつと 永井 雄人	白神山地を守る会 代表理事
にしだ ひでいち 西田 秀一	白神倶楽部 会長
ふくい だいきち 福井 大吉	津軽人文・自然科学研究会 会長
まき た はじめ 牧田 肇	弘前大学名誉教授
よし た みつる 吉田 満	深浦町長

協 議 会 委 員 出 席 者 名 簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	職 業 等
おおくぼ つとむ 大久保 勉	日本山岳会 青森支部長
おざき ゆきお 尾崎 行雄	三陸森の会・弘南森の会 会長
こん ひろし 今 広	青森県西北地域県民局地域農林水産部 林業振興課長
そうま みつはる 相馬 光春	青森県森林組合連合会 (白神山地ビジターセンター館長)
たむら さなえ 田村 早苗	青森大学大学院環境科学研究科 教授
とうじょう あきひこ 東 條 昭彦	鯨ヶ沢町長
代理 ぶち むねつぐ 岩 渕 宗嗣	鯨ヶ沢町観光商工課副主幹
なかはま かずお 中濱 和夫	赤石川を守る会 会長
代理 おさない みのる 小山内 稔	
ながい かつと 永井 雄人	白神山地を守る会 代表理事
ふくい だいきち 福井 大吉	津軽人文・自然科学研究会 会長
まきた はじめ 牧田 肇	弘前大学名誉教授
よし た みつる 吉田 満	深浦町長
代理 と う けんご 佐藤 健吾	深浦町観光課主事補

事務局出席者名簿

氏 名	役 職 名
井 上 晋	東北森林管理局 計画保全部長
青 山 一 郎	東北森林管理局 技術普及課長
寺 田 治 男	東北森林管理局 企画官（自然再生）
加 藤 浩	津軽森林管理署 森林技術指導官
相 馬 勝 則	東北森林管理局 計画保全部 自然遺産保全調整官
細 川 齊	津軽白神森林生態系保全センター所長
川 村 幸 春	" 生態系管理指導官
鈴 木 修	" 生態系管理指導官
三 浦 利 樹	" 自然再生指導官

平成24年度 事業実施報告

1 自然再生活動

*〔 〕内は、平成24年度年報「活動報告」に掲載されている箇所

(1) 白神山地周辺における自然再生活動については、自然再生マップに基づきボランティアによる苗木の供給活動や平成22年度に抜き伐りした箇所、植栽を実施した。作業終了後は、くろくまの滝、遺伝資源保存林などを散策した。

- ・7月7日 一般ボランティア19名により、苗木採取及び仮植を実施。作業後「奥赤石ブナ遺伝資源保存林」を散策。〔P3-①〕
- ・9月1日 一般ボランティア17名により、苗木の採取及び仮植を実施。作業後「くろくまの滝」を散策。〔P3-②〕
- ・9月8日 地元団体12名が参加し、苗木の採取及び植栽を実施。その後、「くろくまの滝」を散策。〔P4-③〕
- ・9月21日 五所川原市の団体18名が参加し、苗木の採取を実施。その後、「くろくまの滝」を散策。〔P4-④〕



苗木の採取



仮植



植栽



作業終了



遺伝資源保存林



くろくまの滝

(2) 列状間伐の列の設定について

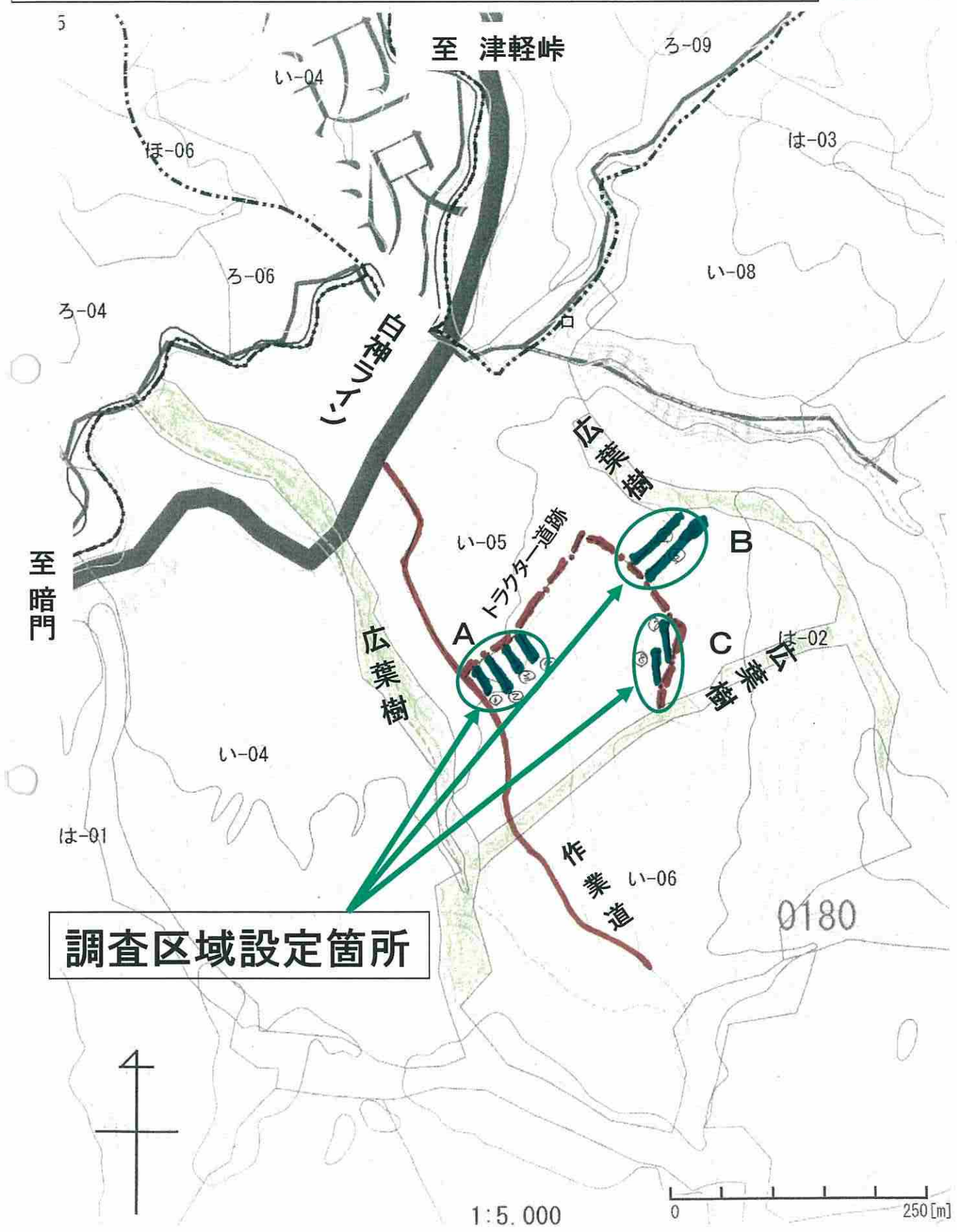
活動拠点13が津軽森林管理署の列状間伐を実施する予定であることから、伐採後発生・生育状況をモニタリングしていくこととし、次の観点から調査区域を設定した。

A：作業路に対し直角、B：保護樹帯に接続、C：日照の影響を確認するため南北の方向に列を入れる。(図-1)

なお、伐採は、平成25年度以降を予定している。

調査区域設定箇所 活動拠点13(180い5林小班)

図-1



調査区域設定箇所

1:5,000

0 250 [m]

(3) 種子の採取について

白神山地周辺地域の自然再生活動の植栽には、地域固有の遺伝情報を守るため、植栽にはできるだけ直近で採取した種子から育苗した苗木を使っていきたいと考えていることから、シードトラップを設置し種子の採取を行った。

採取場所は、活動拠点4及び活動拠点13周辺の保護樹帯に、シードトラップを10月2日～11月12日の期間設置した。ブナ種子は採取できなかったが、カエデ類、ミズナラ、トチの種子を採取した。

これらを本年度6月、活動拠点4の抜き伐り箇所、活動拠点13の苗床予定箇所に播種する予定である。



シードトラップの設置



カエデ類の種子

(4) モニタリング調査について、

自然再生活動の作業内容を決めるためのデータ収集として、抜き伐りした全箇所（152箇所）について樹種、高さ、稚樹の位置を記録した。

2 森林環境教育等

地元小学生を対象とした林業体験教室や親子木工教室、一般住民を対象とする自然観察会等を開催して、森林環境教育等を推進した。

(1) 森林教室等の開催

- ・ 5月15日 町立鯉ヶ沢保育所の園児14名を対象を対象に花の苗を植える「花いっぱい運動」を実施。〔P4-①〕
- ・ 7月22日 第1回親子木工教室を白神山地ビジターセンター「ふれあいデー」と連携し、小学生親子50組を対象に開催。〔P5-②〕
- ・ 8月5日 森林体験教室を日本ユネスコ協会連盟、三菱UFJフィナンシャルグループ等による「子ども自然体験教室」において、都市部の親子21名を対象に丸太切り体験を実施。〔P5-③〕
- ・ 10月21日 第2回親子木工教室を白神山地ビジターセンター「ふれあいデー」と連携し、小学生親子50組を対象に開催。〔P5-④〕



花いっぱい運動



丸太切り体験



木工教室

(2) 森林体験学習

- ・ 9月5日 林業体験教室を舞戸小学校4年生57名を対象に植栽を実施。作業後、くろくまの滝を散策。〔P5-①〕
- ・ 9月6日 林業体験教室を西海小学校5年生19名を対象に植栽を実施。作業後、くろくまの滝を散策し、当センターで木工教室を実施。
当日、天候不順のため植栽を短縮し、木工教室を実施した。〔P6-②〕



林内の移動



唐鍬をふるって



植栽完了



植栽後のお話



ブナ巨木に触れて



くろくまの滝

(3) 自然観察会等の開催

- ・ 5月26日 第1回自然観察会を「津軽十二湖自然休養林」で開催し、宮崎県からの参加者を含め27名で休養林内を散策。〔P6-①〕
- ・ 6月16日 第2回自然観察会をつがる市ベンセ湿原、五所川原市(旧金木町)

の十二本ヤス、旧金木営林署で使用していた現場宿舍用の水力発電施設や森林軌道跡見学。群馬県からの参加者を含め22名で実施。〔P6-②〕

- ・ 7月13日 油川寿大学・大学院の野外活動において、津軽峠付近で白神山地世界遺産地域について説明した後、マザーツリーを見学。〔P7-③〕
- ・ 7月21日 第3回自然観察会を「ぶな巨木ふれあいの径」「マザーツリー」「暗門ブナ林散策道」を散策。24名が参加。〔P7-④〕
- ・ 10月17日 第4回自然観察会を「奥赤石遺伝資源保存林」、「くろくまの滝」、「赤石溪流」沿いを散策。27名が参加。〔P7-⑤〕
- ・ 10月20日 第5回自然観察会を奥赤石遺伝資源保存林、くろくまの滝、赤石溪流沿いを散策。20名が参加。〔P7-⑤〕



十二湖



十二本ヤス



遺伝資源保存林

3 森林生態系保護地域の保全管理

グリーン・サポート・スタッフ、津軽署、ボランティア巡視員、と情報交換を行いながら連携した巡視活動に取り組んだ。

また、白神山地世界遺産地域連絡会議（環境省、青森県、東北森林管理局）の呼びかけによる合同パトロールに参加する共に、入山マナー向上の啓発を図るため、パンフレット配布を行いマナー遵守を呼びかけた。

- ・ 6月 3日 平成24年度第1回「白神山地世界遺産地域巡視員会議」〔P8-①〕
- ・ 7月28日 第1回合同パトロール〔P8-②〕
- ・ 8月22日 第2回合同パトロール〔P8-②〕
- ・ 9月14日 第3回合同パトロール〔P9-③〕
- ・ 2月 3日 平成24年度第2回「白神山地世界遺産地域巡視員会議」〔P9-④〕



白神岳登山口



白神岳山頂



暗門の滝

4 NPO等各種団体との連携

ボランティア団体、NPO等各種団体の活動に際し、安全・技術指導の支援や協力を行った。

- ・ 4月26日 地元ガイド団体等との安全点検（十二湖） [P9-①]
- ・ 5月29日 屏風山周辺の海岸林での環境美化作戦（金木支署ほか） [P17-②]
- ・ 6月 2日 日本ユネスコ協会連盟、三菱UFJフィナンシャルグループ等の植樹祭での植樹指導 [P10-②]
- ・ 6月 3日 県道白神ラインクリーン作戦（白神案内 山の会、西目屋村） [P10-③]
- ・ 6月22日 日本山岳会青森支部「白神山地ブナ林再生事業」での安全指導 [P10-④]
- ・ 6月24日 白神山地を守る会「白神山地ブナ植樹フェスタ in 赤石川」での植樹指導 [P11-⑤]
- ・ 6月30日 日本ユネスコ協会連盟、三菱UFJフィナンシャルグループ等の植樹祭での植樹指導 [P11-⑥]



植樹指導



植樹指導



安全指導

5 希少野生動植物の保護

白神山地周辺地域に生息するクマゲラの営巣木については確認できなかった。しかしながら、目撃情報などから生息はしているものと思われる。

地域内の固有植物であるツガルミセバヤの植生状況確認を行ったほか、巡視員等からの情報を収集した。

動物の生息調査については、センサーカメラの自動撮影によるモニタリング調査を4月下旬と11月上旬に自然再生活動拠点4と白神八甲田緑の回廊の矢立峠周辺で実施した。

自然再生箇所では、ニホンカモシカとアナグマが撮影された。



8月2日 ニホンカモシカ



8月16日 ニホンアナグマ

6 協議会等の開催

6月26日、「第7回白神山地周辺の森林と人との共生活動に関する協議会」の現地検討会と会議を鱒ヶ沢町において開催した。〔P8-①〕

7 普及啓発の実施

(1) ふれあいセンターの活動展等の開催

白神山地周辺における森林の環境保全や森林整備の重要性について、広く国民から協力と理解を得るため、また、当センターの取組活動について、地域住民にPRすることを目的に、ふれあいセンター活動展等を開催した。

青森市（2月8～11日青森県立美術館）、つがる市（3月15～18日イオンモールつがる柏）において、活動展を開催した。〔P11-②,P12-③〕



展示説明



木工教室



ぬり絵

(2) 広報誌の発行及びホームページの充実

ふれあいセンターの広報誌「津軽白神ふれあい通信」を毎月発刊し、関係市町村、学校等の教育関係団体、自然観察会参加者などに郵送、また当センターのHPに掲載し、イベント案内や活動状況等を紹介した。

(3) 講演等

・9月2日 東北森林管理局主催で「白神山地を考える旬間」の行事として、「白神山地の魅力」と題した講演会において、当センターが実施している自然再生活動の取組を報告した。〔P13-③〕

・11月20日 林野庁業務研究発表会で、「白神山地周辺の自然再生を目指して～ボランティアとともに未来の広葉樹森林（もり）へ～」と題して当センターでの取り組みを発表し、「日本林政ジャーナリストの会会長賞」を受賞した。〔P13-⑤〕



取組の報告



業務研究発表会表彰式